

貸借対照表

平成22年3月31日現在

单位：元

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金および預金	3,080,067	買 掛 金	3,515,240
売 掛 金	1,146,899	未 払 金	4,656,572
棚 卸 資 産	4,302,843	未 払 法 人 税 等	182,500
貯 蔵 品	708,527	未 払 消 費 税 等	1,592,100
前 払 費 用	474,767	預 り 金	314,796
未 収 入 金	1,850,994	生 産 者 預 り 金	5,051,444
立 替 金	11,575	仮 受 金	364,150
【流動資産合計】	11,575,672	【流動負債合計】	15,676,802
建 物	532,477	長 期 借 入 金	22,485,000
構 築 物	329,451	【固定負債合計】	22,485,000
機 械 ・ 装 置	84,770		
車 両 ・ 運 搬 具	251,473	負債の部合計	38,161,802
工具・器具・備品	3,699,581	純 資 産 の 部	
建物付属設備	2,226,267	科 目	金 額
建設仮勘定	971,717	資 本 金	74,000,000
一括償却資産	231,490	【資本金合計】	74,000,000
【有形固定資産合計】	8,327,226	利 益 準 備 金	1,500,000
電 話 加 入 権	126,440	【利益準備金合計】	1,500,000
【無形固定資産合計】	126,440	積 立 金	1,000,000
長期前払費用	1,180,304	繰越利益剰余金	△92,594,940
そ の 他 投 資	857,220	【その他利益剰余金合計】	△91,594,940
【投 資 合 計】	2,037,524	【利益剰余金合計】	△90,094,940
【固定資産合計】	10,491,190	【株主資本合計】	△16,094,940
		純資産の部合計	△16,094,940
資産の部合計	22,066,862	負債・純資産の合計	22,066,862

損益計算書

自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日

单位：元

科 目	金 額
交流センター売上	54,874,419
レストラン売上	1,960,841
あばかん家売上	30,176,764
緑 彩 館 売 上	104,452,501
営 業 売 上	10,312,820
業 務 委 託 売 上	1,714,349
【売上高合計】	203,491,694
期 首 棚 卸 高	3,226,521
商 品 仕 入 高	78,298,919
材 料 仕 入 高	14,891,809
期 末 棚 卸 高	4,302,843
【売上原価合計】	92,114,406
【売上総利益(損失)】	111,377,288
【販売費及び一般管理費合計】	109,527,586
【営業利益(損失)】	1,849,702
受取利息割引料	3,703
雑 収 入	71,749
【営業外収益合計】	75,452
支払利息割引料	719,756
雑 損 失	658,173
【営業外費用合計】	1,377,929
【経常利益(損失)】	547,225
税引前当期純利益(損失)	547,225
法人税及び住民税	183,231
【当期純利益】	363,994

販売費及び一般管理費

自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日

单位：元

科 目	金 額
役 員 報 酬	924,000
給 与 人 件 費	54,936,267
從 業 員 賞 与	426,000
法 定 福 利 費	4,445,032
福 利 厚 生 費	899,518
支 払 報 酬	837,896
施 設 管 理 委 託 費	4,251,530
清 掃 衛 生 費	3,488,489
旅 費 交 通 費	110,124
通 信 費	991,403
容 器 包 裝 費	1,350,843
交 際 接 待 費	154,285
広 告 宣 伝 費	1,640,668
販 売 促 進 費	80,737
給 送 達 費	339,202
租 税 公 課	89,800
新 聞 図 書 費	146,666
事 務 用 品 費	635,778
備 品 ・ 消 耗 品 費	3,765,245
電 気 光 熱 費	20,185,536
修 繕 費	1,397,870
車 両 費	1,364,065
支 払 数 料	864,527
賃 借 料	4,979,170
保 險 料	4,855,170
減 価 償 却 費	300,000
寄 付 金	5,000
雑 費	62,765
【販売費及び一般管理費合計】	109,527,586

当期は法人設立12期、二度目の指定管理者としての一期目に当たります。当年の社会状況は、サブ・プライムローンに端を発した世界不況が、その域を脱し得ない状況の中、当地域に存在する企業の合理化が進みました。政治に於いては、「コンクリートから人へ」と自由民主党主導政治から民主党主導政治に変化した年度でありました。この様な社会環境の中、当社におきましては、施設の陳腐化も伴い、レジオネラ属菌の発生事故を起こし、関係者の皆様には、多大なご迷惑をお掛け致しました。以後問題点を改善し安全対策

には、充分留意しながらサービス業の施設として健全な経営をすることに努力致してまいりました。結果は次のとおりとなりました。

入館者は、30万9千人で、前期より9千人の減少でした。また、総売上高は、203,492千円となり、前期より2,994千円の微増となりました。

売上総利益は、111,377千円で、3,956千円の増加となりました。しかし、販売費及び一般管理費は、次期年度の運営強化を見越した人員増も起因し2,966千円の増加となり、営業利益は1,850千円で、対前年度

990千円の改善ができましたが、営業外費用の発生により当期の税引前利益は、547千円となりました。

部署別の状況は次のとおりです。

【入館者】

交流センター

13万5千人

14万4千人

あはかん家

6万1千人

綠彩館

(前年度: 11万9千人)

【売上高】

交流センター

54874千円

(前年度: 58,140千円)

	(前年度…24,561千円)	(前年度…104,453千円)	(前年度…112,516千円)	(前年度…5,281千円)	(平成22年3月から直営)
あばかん家	30,177千円				
緑彩館					
営業部門					
レストラン					

今後は、来館者の要望に沿って、売上の伸長に直結する様一層の力を注ぐとともに、新たな展開を含め、当社の特徴、長所を伸ばしながら販売管理費等の効率化と合わせて、利益の増加に努めてまいります。

損益計算書

自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日

単位：円

科 目	金 額
物 産 売 上 高	187,676,317
実 演 売 上 高	28,457,102
温 泉 売 上 高	15,792,645
カヌーその他売上高	9,110,046
売 上 計	241,036,110
売 上 原 価	152,828,818
期 末 棚 卸 高	▲483,807
売 上 総 利 益	88,691,099
役 員 報 酬	2,400,000
給 与 手 当	32,474,500
雑 給	1,630,695
賞 与	3,400,000
法 定 福 利 費	3,656,880
厚 生 福 利 費	634,554
固 定 費 計	44,196,629
交 通 費	94,624
通 信 費	478,686
交 際 費	269,569
原 価 償 却 費	1,794,773
賃 借 料	8,918,740
保 険 料	488,760
修 繕 費	1,157,461
水 道 光 熱 費	16,275,565
燃 料 費	372,430
消 耗 品 費	4,831,885
租 税 公 課	180,074
運 賃	1,546,387
事 務 用 品 費	246,794
広 告 宣 伝 費	1,343,637
支 払 手 数 料	1,984,939
諸 会 費	468,505
図 書 費	114,503
維 持 管 理 費	2,563,664
寄 付 金	5,000
繰 延 資 産 償 却 費	252,381
雑 費	488,698
変 動 費 計	43,877,075
経 費 計	88,073,704
営 業 利 益	617,395
営 業 外 収 入	4,905,053
営 業 外 費 用	11,729
経 常 利 益	5,510,719
税 引 前 純 利 益	5,510,719
法 人・住 民・事 業 税	1,576,200
当 期 純 利 益	3,934,519

平成21年度の営業収入は全事業で241,036千円、収入構成は、物産77.9%（187,676千円）、温泉6.6%（15,793千円）、実演1.8%（28,457千円）、カヌーその他3.8%（9,110千円）でした。

平成21年度は、第2期指定管理者制度適用の初年度に当たり恒常的な黒字化体質の構築を目的とし、事業のどの部門を強化すべきか検討を重ね、事業個別の特色を生かした具体的な施策を展開致しました。

施策の内容は、饅頭実演販売部門の直営化による売上原価の改善、又、レストランの旅行者扱いの拡販強化や、タピオカ事業において鯛焼きなどの新規販売などを行いました。

総売上の傾向は、不況感やデフレ傾向からくる来店客数の減少、消費単価の下落、好天日数の減少などが相俟って6月以降売り上げの減少に歯止めが

掛からない状況が続きました。

管理コスト面におきましては、レジシステムリリース終了後の新規システム導入を見送り、その剰余金の一部を従業員のボーナスに反映充当し従業員の生産性意欲の向上を図りました。また、原油高による光熱費増加分を補うため燃料消費の細かい管理や施設維持管理費の自助努力による抑制を行いました。

しかしながら、昨年来の世界的な不況感デフレ感の影響は消費単価の下落傾向として見られ、高速道路の料金緩和策にもかかわらず回復の見通しが想定できない厳しい年でありました。

当社では、このような営業環境に対応すべく、外販の強化や日常営業活動の強化と経費の見直しを行いました。結果、年度末におきまして営業損益で617千円、経常損益で5,510千円の利益を確保致しました。

貸借対照表

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	46,262,360	【 流 動 負 債 】	22,266,555
現 金	1,655,080	買 掛 金	1,481,699
預 金	39,798,611	未 払 金	18,107,362
売 掛 金	1,318,473	未 払 法 人 税 等	937,200
商 品	483,807	預 り 金	283,794
貯 蔵 品	735,853	未 払 消 費 税	1,423,600
未 収 入 金	2,270,536	商 品 券	32,900
【 固 定 資 産 】	15,272,459	【 固 定 負 債 】	7,238,000
（有形固定資産）	14,958,349	長 期 預 り 保 証 金	7,238,000
建 物	9,863,837	負 債 合 計	29,504,555
建 物 付 属 設 備	852,269		
車 両 運 搬 具	17,145		
工 具 器 具 備 品	413,598		
リ ー ス 資 産	3,811,500		
（投資その他の資産）	314,110		
差 入 保 証 金	300,000		
リサイクル預託金	14,110		
【 繰 延 資 産 】	828,176		
フランチャイズ加入金	469,842		
下 水 道 負 担 金	358,334		
資 産 合 計	62,362,995		
		純 資 産 の 部	
		【 株 主 資 本 】	32,858,440
		資 本 金	65,000,000
		（ 利 益 剰 余 金 ）	▲32,141,560
		その他利益剰余金	▲32,141,560
		繰越利益剰余金	▲32,141,560
		純 資 産 合 計	32,858,440
		負債・純資産合計	62,362,995